

2016年5月4日

国立国会図書館とは (概要)

同志社大学大学院総合政策科学研究科
嘱託講師 中山正樹

国立国会図書館の概況

設置法	国立国会図書館法
創設年	1948年
職員数	889名(2014年4月)
年間予算額	約195億円(2014年度)
資料購入費	約23億円(2014年度)
蔵書数 (2013年度末)	図書 約1,032万点
	逐次刊行物 約1,595万点
	総計 約4,028万点
受入資料数 (2013年度)	図書 約24万点
	逐次刊行物 約56万点
	総計 約89万点
書誌データ 作成数	2013年度新規作成:約64万件 累計:約2,240万件
利用者数 (2013年度)	東京本館約51万人(1,819人/日) ＋ 遠隔利用・・・

増加するデジタル資料とその利用

インターネット 資料の 収集・保存 (2013年度末)	提供タイトル数:7,610件
	収集個体数:69,449件 (例:1タイトルにつき、4回収集 すると、4個体)
	全容量:358 TB (テラバイト)
デジタル化 資料数 (2014年10月 時点)	インターネット公開:約48万点
	館内限定提供:約198.5万点 (図書館送信:約131万点)
	合計:約246.5万点
国立国会 図書館デジ タルコレクション へのアクセス (2013年度)	約3,151万件 (約86,000件/日) (毎秒約1件のアクセス)

デジタル化資料の提供状況～資料群別

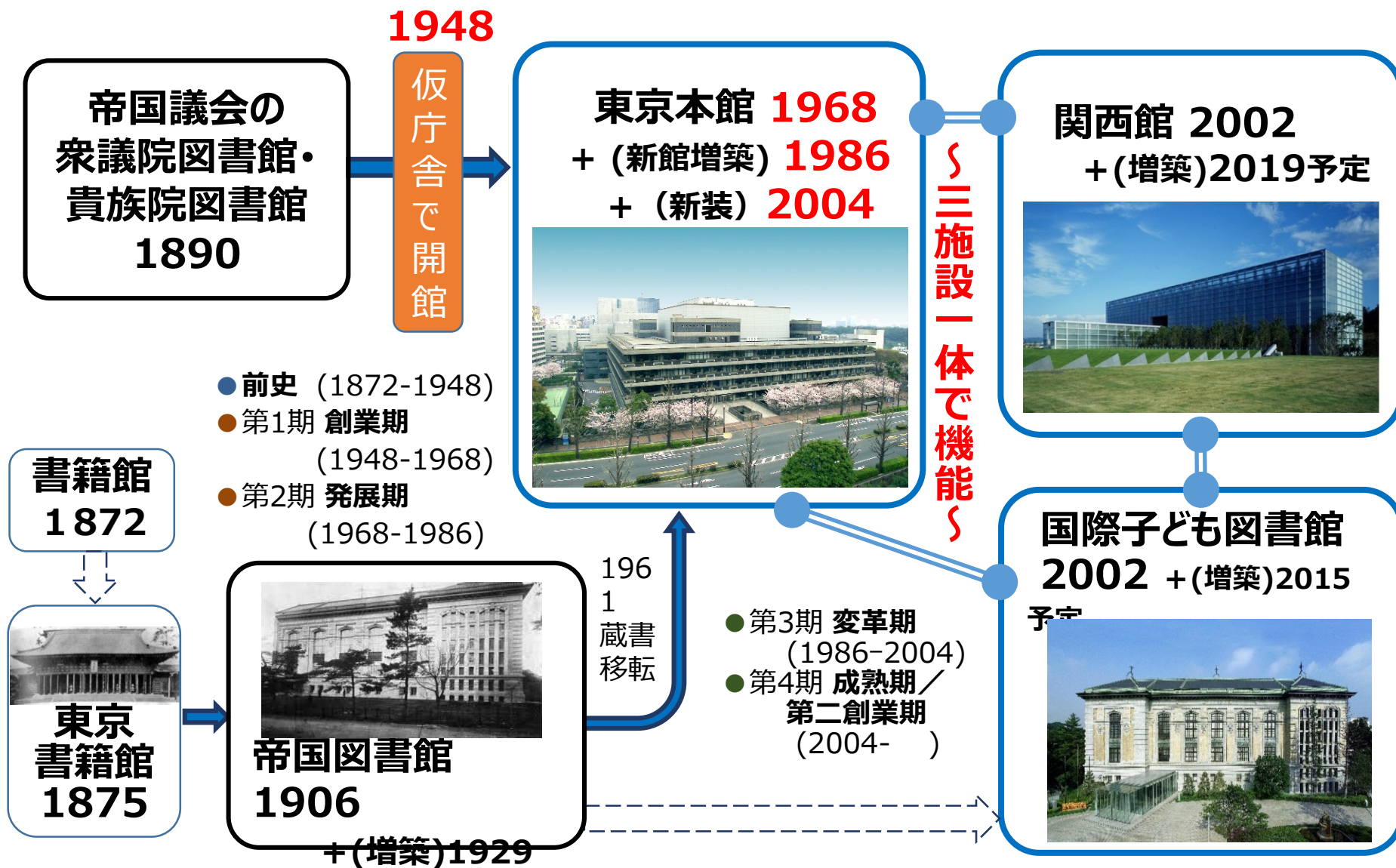
2014年10月現在（概数）

資料種別	インターネット公開	図書館送信	国立国会図書館館内限定	合 計	年代・内容	デジタル化の割合
図書	35万点	50万点	5万点	90万点	～ 1968 受入分	1/5
雑誌	0.8万点	67万点	56万点	123.5万点	～ 2000 発行分	1/4
古典籍	7万点	2万点	—	9万点	貴重書等	1/3
博士論文	1.5万点	12万点	1万点	14万点	1991～2000 受入分	1/4
その他	4万点	—	6万点	10万点	憲政資料等	1/7
合 計	48万点	131万点	68万点	246.5万点		1/4

※想定デジタル化対象数に対する割合

注） 概数のため、合計が合わない場合があります。

国立国会図書館の施設展開



NDLの使命と目標

私たちの使命・目標 2012-2016

国立国会図書館は、出版物を中心に国内外の資料、情報を広く収集し、保存して、知識・文化の基盤となり、国会の活動を補佐するとともに、行政・司法及び国民に図書館サービスを提供することを通じ、国民の創造的な活動に貢献し、民主主義の発展に寄与します。

おおむね 5年間に最大限に努力すべき6つの目標

目標1：国会の活動の補佐

- ・信頼性の高い専門的調査・分析と迅速、的確な情報提供を強化

目標2：収集・保存

- ・納本制度の一層充実、国内出版物の網羅的収集
- ・電子的に流通する情報を含め、様々な資料・情報を文化的資産として収集、保存

目標3：情報アクセス

- ・収集資料や必要な情報・知識に迅速かつ的確にアクセスできる環境・手段の整備
- ・情報環境に対応した資料のデジタル化、探索手段の向上

目標5：東日本大震災アーカイブ

- ・未曾有の災害の教訓を後世に伝える

目標4：協力・連携

- ・国内外の関係機関と連携、知識・文化の基盤を一層豊かにし、人々の役に立つものへ

目標6：運営管理

- ・透明性が高く効率的な運営管理
- ・高度なサービス提供を担う人材を育成
- ・必要な施設整備の推進